令和8年度　シラバス

2026.4

教科	科目名	単位数	クラス
国語	文学国語	3	2年

使用教科書	高等学校標準文学国語（第一学習社）	使用副教材	国語便覧　現代文必携　学習課題集

目標	生涯にわたる社会生活に必要な知識、技能を身に付け、言語文化に対する理解を深める。 また、創造的に考える力を養い、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。。

学期	月	予定時数	学習内容	評価（〇）と留意点（※）
一学期	4	10 (10)	1 現代の小説（一）「調律師のるみ子さん」 春課題テスト	小説・詩 〇文脈に即して語句の意味を理解し、漢字を正しく読み書きしているか。（知） 〇本文の内容を理解しているか。（知） 〇本文を段落に分けて展開をとらえ、登場人物の心情とその変化を本文での描写に即して説明できるか。（思） 〇小説の豊かな言語表現に関心をもち、幅広い読書を通じて親しもうとしている。（主） ※授業の様子、ワークシート、テストで確認
	5	9 (19)	2 現代の詩「生命は」「そこにひとつの席が」	
	6	9 (28)	一学期中間考査 3 現代の小説（二）「相棒」	
	7	5 (33)	文学のしるべ	
	8	4 (37)	夏課題テスト	
	9	7 (44)	京都を舞台にした小説 一学期期末考査	
1学期計		(44)		
二学期	10	7 (7)	4 随想 「花のいざない」	表現活動 〇漢字、語句等の既習事項を活かして表現しようとしているか。（知） 〇教科書本文やその他の資料を参考にしながら、さらに自分の考えを深めて表現しようとしているか。（思） 〇発表に対する感想や意見を取り入れて考えを修正し、日常生活に活かそうとしているか。（主） ※授業の様子、ワークシート、テストで確認
	11	8 (15)	5近代の小説（一）	
	12	10 (25)	二学期中間考査 6近代の小説（二）「こころ」	
	1	6 (31)	冬課題テスト 7戦争と文学「わたしが一番きれいだったとき」	
	2	13 (44)	二学期期末考査	
	3	2 (46)		
2学期計		46		
授業時間総計		(90)		

令和8年度　シラバス

2026.4

教科	科目名	単位数	クラス
国語	国語表現	2	2年選択

使用教科書	国語表現（大修館書店）	使用副教材	国語便覧　基礎練習ノート

目標	実社会に必要な国語の知識・技能を身に付ける。また、実社会における他者との多様な関りの中で伝え合う力を高め、自分の考えを広げ、深める。

学期	月	予定時数	学習内容	評価（〇）と留意点（※）
一学期	4	7 (7)	言葉と出会う 表記、整った文、言葉遣い、わかりやすい文、文のつなぎ	〇漢字・語句等（知）【テスト】 〇言葉の働きを理解しているか。（知） 【授業・テスト】
	5	5 (12)	身近な言葉をみつめよう	
	6	8 (20)	１中間テスト	〇文章の種類を踏まえて内容等を的確にとらえて表現しているか。（思） 【授業・テスト】
	7	4 (24)	伝える、伝え合う	〇日常使用する言葉を見つめ直し、さまざまな機会を捉えて表現しようとしているか。（主） 【提出物】
	8	2 (26)	伝え合いのヒント	
	9	6 (32)	１期末テスト	※それぞれ授業の様子、ワークシート、テスト、提出物で確認
1学期計		(32)		
二学期	10	8 (8)	自己PR	
	11	5 (13)	自己を見つめる	
	12	6 (19)	２中間テスト	
	1	4 (23)	小論文・レポート入門	
	2	8 (31)	小論文を書くために ２期末テスト	
	3	0 (31)		
2学期計		31		
授業時間総計		(63)		

令和8年度　シラバス

2026.4

教科	科目名	単位数	クラス
地歴	地理総合	2	2年A組

使用教科書	高校生の地理総合 （帝国書院）	使用副教材	高校生の地理総合ノート

目標	社会的事象の地理的な見方・考え方を働かせ、課題を追究したり解決したりする活動を通しての資質・能力を育成する。世界の多様な地域の文化の違いを理解し共に生きていく人間力の向上をはかる。

学期	月	予定時数	学習内容	評価（〇）と留意点（※）
一学期	4	7 (7)	地図や地理情報システムでとらえる現代社会 地図や地理情報システムと現代社会	〇基本的事象を理解できたか（知） 〇自己の考えをまとめることができたか（思）
	5	5 (12)	地球儀と地図 地図と地理情報システム	〇積極的に課題等に取り組んだか（主知） 〇知識の理解をもとに新たな課題を見いだすことができたか（思）
	6	8 (20)	結びつきを深める現代社会	〇より難易度の高い課題に取り組むだか（主） 〇学習課程を振り返り、新たな改題を見いだそうとしたか（主思）
	7	5 (25)	現代世界の国家と領域 地図から見る国内や国家間の結びつき	
	8	1 (26)	国際理解と国際協力 生活文化の多様性と国際理解	
	9	5 (31)		
1学期計		(31)		
二学期	10	6 (6)	多様な生活文化と地理的環境 東アジア　東南アジア	〇基本的事象を理解できたか（知） 〇自己の考えをまとめることができたか（思）
	11	4 (10)	インド　中央アジア　西アジア　北アフリカ サハラ以南アフリカ	〇積極的に課題等に取り組んだか（主知） 〇知識の理解をもとに新たな課題を見いだすことができたか（思）
	12	6 (16)	ヨーロッパ　ロシア 南北アメリカ　オセアニア	〇より難易度の高い課題に取り組むだか（主） 〇学習課程を振り返り、新たな改題を見いだそうとしたか（主思）
	1	4 (20)	持続可能な地域づくりと私たち 自然環境と防災	
	2	7 (27)	生活圏の調査と地域の展望 まとめ	
	3	0 (27)		
2学期計		27		
授業時間総計		(58)		

令和8年度　シラバス

2026.4

教科	科目名	単位数	クラス
地歴	日本史探究	2	2年選択

使用教科書	精選日本史探究(実教出版)	使用副教材	プロムナード日本史（浜島書店）

目標	我が国の歴史の展開に関わる諸事象について、地理的条件や世界の歴史と関連付けながら総合的に捉えて理解するとともに、諸資料から我が国の歴史に関する様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付けるようにする。

学期	月	予定時数	学習内容	評価（〇）と留意点（※）
一学期	4	6	原始・古代の日本と東アジア	〇基本的事象を理解できたか（知）
		(6)	課題テスト	〇自己の考えをまとめることができたか（思）
	5	8	国家と人間の形成	〇積極的に課題等に取り組んだか（主知）
		(14)		○知識の理解をもとに新たな課題を見いだすことができたか（思）
	6	8	古代国家の確立	〇より難易度の高い課題に取り組むだか（主）
		(22)	中間考査	○学習課程を振り返り、新たな改題を見いだそうとしたか（主思）
	7	4	中世の日本と世界	
		(26)	中世社会の成立	
	8	2	課題テスト	
		(28)	中世社会の展開	
	9	4	戦国時代の社会と文化	
		(32)	期末考査	
1学期計		(32)		
二学期	10	8	近世の日本と世界	〇基本的事象を理解できたか（知）
		(8)	統一政権の成立	〇自己の考えをまとめることができたか（思）
	11	6		〇積極的に課題等に取り組んだか（主知）
		(14)	中間考査	○知識の理解をもとに新たな課題を見いだすことができたか（思）
	12	6	幕藩体制の展開	〇より難易度の高い課題に取り組むだか（主）
		(20)		○学習課程を振り返り、新たな改題を見いだそうとしたか（主思）
	1	6	課題テスト	
		(26)	江戸時代の改革	
	2	4		
		(30)	年度末考査	
	3	0	今年度のまとめ	
		(30)		
2学期計		30		
授業時間総計		(62)		

令和8年度　シラバス

2026.4

教科	科目名	単位数	クラス
公民	公共	2	2年A組

使用教科書	高等学校　新公共　第一学習社	使用副教材	新公共ノート

目標	「社会的な見方・考え方」を働かせ、現代の諸課題を追究したり解決したりする活動を通して、公民としての資質・能力を育成することを目指す。

学期	月	予定時数	学習内容	評価（〇）と留意点（※）
一学期	4	7 (7)	公共の扉 公共的な空間をつくる私たち	〇基本的事象を理解できたか（知） 〇自己の考えをまとめることができたか（思） 〇積極的に課題等に取り組んだか（主知） 〇知識の理解をもとに新たな課題を見いだすことができたか（思） 〇より難易度の高い課題に取り組むだか（主） 〇学習課程を振り返り、新たな改題を見いだそうとしたか（主思）
	5	6 (13)	公共的な空間における人間としてのあり方生き方	
	6	8 (21)	公共的な空間における基本原理	
	7	3 (24)	自立した主体として	
	8	2 (26)	法的な主体となる私たち	
	9	7 (33)		
1学期計		(33)		
二学期	10	3 (3)	政治的な主体となる私たち	〇基本的事象を理解できたか（知） 〇自己の考えをまとめることができたか（思） 〇積極的に課題等に取り組んだか（主知） 〇知識の理解をもとに新たな課題を見いだすことができたか（思） 〇より難易度の高い課題に取り組むだか（主） 〇学習課程を振り返り、新たな改題を見いだそうとしたか（主思）
	11	6 (9)	経済的な主体となる私たち	
	12	7 (16)		
	1	3 (19)	持続可能な社会づくりの主体となる私たち ケーススタディ	
	2	7 (26)	1年間のまとめ	
	3	1 (27)		
2学期計		27		
授業時間総計		(60)		

令和8年度　シラバス

26年04月

教科	科目名	単位数	クラス
数学	数学A	3	2年

使用教科書	数研 数A/104-906 新 高校の数学A 改訂版	使用副教材	数研出版編集部編　ﾎﾟｲﾝﾄﾉｰﾄ数学A

目標	場合の数と確率，整数の性質について理解させ，基礎的な知識の習得と技能の習熟を図り，事象を数学的に考察する能力を養い，数学のよさを認識できるようにするとともに，それらを活用する態度を育てる。

学期	月	予定時数	学習内容	評価（○）と留意点（※）
一学期	4	9 (9)	数Ⅰの復習・課題ﾃｽﾄ	○正確に速く計算できたか　(知)[提出物・ﾃｽﾄ] ○概念や原理・法則を理解し，数式や図に正しく表現できたか　(知思)[提出物・ﾃｽﾄ] ○計算等の結果に対し，正しく数学的な判断や分析を下せたか　(思)[提出物・ﾃｽﾄ] ○数や式・図形に対し，多面的にとらえ関連付けながら論理的に考察できたか(思)[提出物・ﾃｽﾄ] ○基本的な課題に真面目に取組んだか(主)[提出物] ○より難易度の高い課題に積極的に取組んだか　(思主)[提出物] ○学習過程を振返り，考察を深めたり，評価・改善しようとしたか(主)[提出物]
	5	10 (19)	1章　場合の数と確率 1節 場合の数	
	6	11 (30)	中間考査	
	7	9 (39)	2節 確率	
	8	3 (42)	課題ﾃｽﾄ	
	9	8 (50)	期末考査	
1学期計		(50)		
二学期	10	11 (11)	3章 数学と人間の活動	一学期と同様
	11	9 (20)		
	12	9 (29)	第2章　図形の性質　　中間考査 第1節　平面図形	
	1	8 (37)	課題ﾃｽﾄ	
	2	10 (47)	第2節　空間図形 期末考査	
	3	2 (49)		
2学期計		49		
授業時間総計		(99)		

令和8年度　シラバス

2026.4

教科	科目名	単位数	クラス
理科	生物基礎	2	2年A組

使用教科書	新編　生物基礎（数研出版）	使用副教材	新編生物基礎準拠サポートノート(数研出版)

目標	日常生活や社会との関連を図りながら生物や生物現象への関心を高め、目的意識を持って観察、実験などを行い、生物学的に探究する能力と態度を育てるとともに、生物学の基本的な概念や原理・法則を理解させ、科学的な見方や考え方を養う。

学期	月	予定時数	学習内容	評価（〇）と留意点（※）
一学期	4	7 (7)	序章　顕微鏡の使い方 第1章　生物の特徴	〇積極的に授業に取り組み、発言したか。 （知・思・主）【授業】
	5	8 (15)	生物の多様性と共通性 エネルギーと代謝　呼吸と光合成	〇正確に観察、実験に取り組めたか。 （知・思）【実験】
	6	7 (22)	中間考査 第2章のまとめ、探究活動	〇科学に対する興味関心を高めたか。 （主）【授業・提出物】
	7	3 (25)	第2章　遺伝子とそのはたらき 遺伝情報とDNA	〇学習内容の理解と定着ができたか。 （知・主）【テスト・提出物】
	8	3 (28)	遺伝情報の複製と分配 遺伝情報の発現	
	9	5 (33)	第2章のまとめ、探究活動 期末考査	
1学期計		(33)		
二学期	10	6 (6)	第3章　ヒトの体内環境の維持 体内での情報伝達と調節	1学期に同じ
	11	5 (11)	体内環境の維持のしくみ 免疫のはたらき	
	12	7 (18)	第3章のまとめ、探究活動 中間考査	
	1	5 (23)	第4章　生物の多様性と生態系 植生と遷移　植生の分布とバイオーム	
	2	7 (30)	生態系と生物の多様性　生態系のバランスと保全 年度末考査	
	3	2 (32)	テスト返却　春課題配布	
2学期計		32		
授業時間総計		(65)		

令和8年度　シラバス

2026.4

教科	科目名	単位数	クラス
保健体育	体育	3	2年A組

使用教科書	0	使用副教材	ステップアップ高校スポーツ

目標	運動や健康についての自他や社会の課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて思考し判断するとともに、他者に伝える力を養う。

学期	月	予定時数	学習内容	評価（○）と留意点（※）
一学期	4	9 (9)	【オリエンテーション】・集団行動 ・体つくり運動　・体育理論	○（知）技の名称や行い方、体力の高め方、課題解決の仕方などについて理解している。
	5	11 (20)	・体力を高める運動 ・スポーツテスト	○（技）各単元における新たに学習する基本的な一連の動きを滑らかに安定させて行うことができる。
	6	9 (29)	・ソフトテニス　・卓球	○（思）課題解決の課程を踏まえて、自己や仲間の新たな課題を発見している。
	7	6 (35)	・クラスマッチ種目練習	○（主）自己の状況に関わらず、仲間のプレーや取組みを讃えようとしている。
	8	2 (37)	・体育理論	
	9	9 (46)	・現代的なリズムのダンス ・陸上競技（長距離走）	
1学期計		46		
二学期	10	8 (8)	・陸上競技（長距離走） ・現代的なリズムのダンス	一学期と同様
	11	7 (15)	・球技選択A（ﾊﾞｽｹｯﾄﾎﾞｰﾙ,ﾊﾞﾄﾞﾐﾝﾄﾝ,ﾊﾞﾚｰﾎﾞｰﾙ,卓球）	
	12	9 (24)	・球技選択B(ﾊﾞｽｹｯﾄﾎﾞｰﾙ,ﾊﾞﾄﾞﾐﾝﾄﾝ,ﾊﾞﾚｰﾎﾞｰﾙ,卓球）	
	1	19 (43)	・ウィンタースポーツ	
	2	7 (50)	・球技選択(ﾊﾞｽｹｯﾄﾎﾞｰﾙ,ﾊﾞﾄﾞﾐﾝﾄﾝ,ﾊﾞﾚｰﾎﾞｰﾙ,卓球） ・体育理論　・ウィンタースポーツ	
	3	0 (50)		
2学期計		50		
授業時間総計		(96)		

令和8年度　シラバス

2026.4

教科	科目名	単位数	クラス
保健体育	保健	1	2年A組

使用教科書	現代高等保健体育	使用副教材	現代高校保健体育ノート

目標	個人及び社会生活における健康・安全について理解を深めるとともに，技能を身に付けるようにする。健康についての自他や社会の課題を発見し，合理的，計画的な解決に向けて思考し判断するとともに，目的や状況に応じて他者に伝える力を養う。生涯を通じて自他の健康の保持増進やそれを支える環境づくりを目指し，明るく豊かで活力ある生活を営む態度を養う。

学期	月	予定時数	学習内容	評価（〇）と留意点（※）
一学期	4	3 (3)	3単元　生涯を通じる健康 〇オリエンテーション 1．ライフステージと健康	〇個人における健康・安全について理解できたか（知）「課題提出・テスト」 〇社会生活における健康・安全について理解できたか（知）「課題提出・テスト」
	5	3 (6)	2．思春期と健康 3．性意識と性行動の選択 4．妊娠・出産と健康 5．避妊法と人工妊娠中絶	〇健康について、自他の課題を発見し解決に向けて思考し判断することができたか（思）
	6	5 (11)	〇授業の復習 〇1学期中間考査	〇健康について、自他の課題を発見し解決に向けて思考し目的や状況に応じて他者に伝えることができたか（思）「発表・テスト」
	7	3 (14)	〇中間テストまでの振り返り 6．結婚生活と健康 7．中高年期と健康	〇健康について、社会の課題を発見し解決に向けて思考し目的や状況に応じて他者に伝えることができたか（思）「発表・テスト」
	8	1 (15)	8．働くことと健康	〇自他の健康の保持増進を目指し、明るく豊かで活力ある生活を考察することができたか（主）「課題提出・テスト」
	9	4 (19)	9．労働災害と健康 10．健康的な職業生活 〇授業の復習 〇1学期期末テスト	〇自他の健康を支える環境づくりを目指し、明るく豊かで活力ある生活を考察することができたか（主）「課題提出・テスト」
1学期計		(19)		
二学期	10	4 (4)	4単元　健康を支える環境づくり 1．大気汚染と健康 2．水質汚濁、土壌汚染と健康 3．環境と健康にかかわる対策	1学期に同じ
	11	3 (7)	4．ごみの処理と上下水道の整備 〇2学期中間テスト	
	12	3 (10)	5．食品の安全性 6．食品衛生にかかわる活動 7．保健サービスとその活用	
	1	2 (12)	8．医療サービスとその活用 9．医薬品の制度とその活用	
	2	4 (16)	10.さまざまな保健活動や社会的対策 11．健康に関する環境づくりと社会参加 〇授業の復習とまとめ 〇年度末考査	
	3	1 (17)	〇テスト返却　授業の復習	
2学期計		17		
授業時間総計		(36)		

令和8年度　シラバス

2026.4

教科	科目名	単位数	クラス
選択A	スポーツライフ	2	2年A組

使用教科書	ステップアップ高校スポーツ	使用副教材	

目標	
	(1)球技の推進及び発展に向けた多様な関わり方を理解するとともに、技能を身に付ける。 (2)球技における自他や社会の課題を発見し、思考判断するとともに、他者に伝える力を養う。 (3)球技の学習に主体的に取り組むとともに、公正、協力、責任、参画、共生などに対する意欲を高め、健康・安全を確保して、生涯を通してスポーツの推進及び発展に寄与する態度を養う。

学期	月	予定時数	学習内容	評価(○)と留意点(※)
一学期	4	5 (5)	・オリエンテーション ・体つくり運動 ・筋力を高める運動	○個人の技能を向上させようと努力しようとしているか。(知)「テスト」
	5	8 (13)	・卓球 ・筋力を高める運動	○自己やチームの課題を発見し、合理的な解決に向けて運動の取り組み方を工夫しようとしているか。(思)「個人ノート・観察」
	6	5 (18)	・ソフトテニス ・筋力を高める運動	○自己や仲間の考え方を他者に伝えようとしているか。(思)「観察」 ○自主的に取り組もうとしているか。(主)「観察」
	7	4 (22)	・ソフトテニス ・筋力を高める運動	○互いに助け合い教え合おうとしているか。(思・主)「観察」 ○一人一人の違いに応じた動きを大切にしようとしているか。(知・思)「ゲーム・観察」
	8	2 (24)	・バドミントン ・筋力を高める運動	○健康や安全を考え行動しようとしているか。(思)
	9	4 (28)	・バドミントン ・筋力を高める運動	※スキルテストで向上してきているか ※ノートに課題や解決に向けての内容が記載されているか
1学期計		(28)		
二学期	10	5 (5)	・バドミントン ・筋力を高める運動	1学期に同じ
	11	6 (11)	・パドルテニス ・筋力を高める運動	
	12	7 (18)	・パドルテニス ・筋力を高める運動	
	1	3 (21)	・卓球及びバドミントン ・筋力を高める運動	
	2	6 (27)	・卓球及びバドミントン ・筋力を高める運動	
	3	0 (27)		
2学期計		27		
授業時間総計		(55)		

令和8年度　シラバス

2026.4

教科	科目名	単位数	クラス
芸術	音楽Ⅱ	2	2年

使用教科書	高校生の音楽2	使用副教材	

目標	芸術的な能力を伸ばし、表現を創意工夫することや良さや美しさを味わうことが出きる心情を育てる。

学期	月	予定時数	学習内容	評価（〇）と留意点（※）
一学期	4	6 (6)	日本音楽を歌う 合唱曲を歌う	〇曲種に応じた発声、身体の使い方が理解出来たか（知・思） 〇歌詞の意味を理解し、表現出来たか（知・意）
	5	8 (14)	オーストリア音楽家のCD鑑賞 器楽（ピアノ、キーボード、ギター）	〇作家達の生い立ち、歴史的背景が理解出来、音楽の美しさを味わって聞くことが出来たか（知・思・主）[提出物] 〇音符の長さを理解し、リズム作りが出来たか（知・思）[提出物]
	6	8 (22)	3拍子・4拍子のリズム作り 世界の音楽CD鑑賞、自由DVD鑑賞	〇映画音楽のストーリー（絆・思いやり）と音楽の美しさを鑑賞出来たか（思・主）[提出物] 〇世界には多種多様の音楽と楽器があることが理解出来、鑑賞出来たか（知）[提出物]
	7	4 (26)	映画音楽DVD鑑賞 自由CD鑑賞	〇課題に積極的に取り組み、工夫と改善をしようとしたか（主）
	8	2 (28)	日本とイタリア音楽を歌う	
	9	4 (32)	世界の音楽CD鑑賞、自由DVD鑑賞 実技テスト（歌唱）	
1学期計		(32)		
二学期	10	8 (8)	日本音楽を歌う 3拍子・4拍子のリズム作り	
	11	6 (14)	イタリア音楽家CDのソネット作り 映画音楽のDVD鑑賞、自由DVD鑑賞	
	12	6 (20)	クリスマス音楽を歌う 器楽（ピアノ、キーボード、ギター）	
	1	6 (26)	西洋楽曲調べ	
	2	4 (30)	実技テスト(器楽)	
	3	0 (30)		
2学期計		30		
授業時間総計		(62)		

令和8年度　シラバス

2026.4

教科	科目名	単位数	クラス
美術	美術Ⅱ	2	2A

使用教科書	光村図書	使用副教材	0

目標	①制作活動を通して美的感覚を洗練し、表現と鑑賞の能力を高める。 ②美術についての理解を深め、美術を愛好する心情を育てる。

学期	月	予定時数	学習内容	評価（〇）と留意点（※）
一学期	4	6 (6)	〇人物デッサン ・対象をよく見て正確に描く。	〇材料や用具の扱い方を身につけられたか。（知） 〇課題を理解し、発想や構想ができたか。（思）
	5	8 (14)	〇風景画 ・遠近法を理解する。	〇工夫して表現できたか。（知・思） 〇主体的に美術の活動に取り組んだか。（主）
	6	8 (22)	・油彩による絵画制作。 ・アニメーションの仕組みを理解する。	〇作品を鑑賞し、見方や感じ方を広げられたか。（主）
	7	4 (26)	・ステンシル技法を理解する。	
	8	2 (28)	〇クレイアニメーション ・カメラ・パソコンを使っての制作。	
	9	4 (32)	・アニメーションの仕組みを理解する。	
1学期計		(32)		
二学期	10	8 (8)	〇読書感想画 ・本・主題の設定。	1学期と同様
	11	6 (14)	・油彩による絵画制作。	
	12	6 (20)	〇ライトスクラッチ ・ニードルでの表現方法。	
	1	6 (26)	〇食品サンプル制作 ・粘土やレジンを使っての制作。	
	2	4 (30)	・対象をしっかり観察して表現する。	
	3	0 (30)		
2学期計		30		
授業時間総計		(62)		

令和8年度　シラバス

2026.4

教科	科目名	単位数	クラス
英語	英語ｺﾐｭﾆｹｰｼｮﾝⅡ	3	2年A組

使用教科書	Amity English Communication Ⅰ（開隆堂）	使用副教材	

目標	英語を通じて、積極的にコミュニケーションを図ろうとする態度を育成するとともに、情報や考えなどを的確に理解したり的確に伝えたりする発展的的な能力を養う。

学期	月	予定時数	学習内容	評価（○）と留意点（※）
一学期	4	10	課題テスト	○英語を正確に理解しているか（知思）[ﾃｽﾄ]
		(10)	1年次振り返り	○積極的に課題に取り組んだか（主）[提出物]
	5	11	Lesson 1　Okinawa	
		(21)		
	6	11		○英語を正確に理解しているか（知思）[ﾃｽﾄ]
		(32)	中間考査	○積極的に課題に取り組んだか（主）[提出物]
	7	6	Lesson 2 The History of Japanese Food	
		(38)		
	8	3	課題テスト	○英語を正確に理解しているか（知思）[ﾃｽﾄ]
		(41)		○積極的に課題に取り組んだか（主）[提出物]
	9	8	Lesson 3　Volunteer Work	○英語を正確に理解しているか（知思）[ﾃｽﾄ]
		(49)	期末考査	○積極的に課題に取り組んだか（主）[提出物]
1学期計		49		
二学期	10	9		
		(58)		
	11	7	Lesson 4 Gacha-gacha	
		(65)	中間考査	○英語を正確に理解しているか（知思）[ﾃｽﾄ]
	12	10		○積極的に課題に取り組んだか（主）[提出物]
		(75)	Lesson 5 Interesting Aquariums	
	1	8	課題テスト	○英語を正確に理解しているか（知思）[ﾃｽﾄ]
		(83)	Lesson 6　The Relay of Ahmed's Life	○積極的に課題に取り組んだか（主）[提出物]
	2	8	2学期の振り返り	
		(91)	年度末考査	○英語を正確に理解しているか（知思）[ﾃｽﾄ]
	3	2		○積極的に課題に取り組んだか（主）[提出物]
		(93)		
2学期計		44		
授業時間総計		93		

令和8年度　シラバス

2026.4

教科	科目名	単位数	クラス
英語	論理表現Ⅰ	2	2年選択A

使用教科書	Standard Vision Quest English Logic asnd Expression Ⅰ （啓林館）	使用副教材	

目標	英語を通じて、積極的にコミュニケーションを図ろうとする態度を育成するとともに、事実や意見などを多様な観点から考察し、論理の展開や表現の方法を工夫しながら伝える能力を養う。

学期	月	予定時数	学習内容	評価（〇）と留意点（※）
一学期	4	5	・1年次の振り返り	
		(5)	・Lesson 1　文の種類	〇英語を正確に理解しているか（知思）[ﾃｽﾄ]
	5	8	・Lesson 2　文型と動詞	〇積極的に課題に取り組んだか（主）[提出物]
		(13)	・Lesson 3　時制	
	6	6	中間考査	〇英語を正確に理解しているか（知思）[ﾃｽﾄ]
		(19)	・Project Ⅰ Travel Plans	〇積極的に課題に取り組んだか（主）[提出物]
	7	4	・Lesson 4　完了形	
		(23)		〇Projectについて英作文（知思主）[発表]
	8	2	・Lesson 5　助動詞	
		(25)	・Lesson 6　完了形	
	9	5	・Project Ⅱ Curry Festival	〇英語を正確に理解しているか（知思）[ﾃｽﾄ]
		(30)	期末考査	〇積極的に課題に取り組んだか（主）[提出物]
1学期計		30		
二学期	10	5	・Lesson 7 不定詞	〇英語を正確に理解しているか（知思）[ﾃｽﾄ]
		(35)	・Lesson 8 動名詞	〇積極的に課題に取り組んだか（主）[提出物]
	11	6	・Lesson 9 分詞	
		(41)	中間考査	
	12	8	・Lesson 10 関係詞	
		(49)		〇英語を正確に理解しているか（知思）[ﾃｽﾄ]
	1	3	・Lesson 11 比較	〇積極的に課題に取り組んだか（主）[提出物]
		(52)	・Lesson 12 仮定法	
	2	7	・Project Ⅲ Giving a Present	〇Projectについて英作文（知思主）[発表]
		(59)	年度末考査	
	3	0		
		(59)		
2学期計		29		
授業時間総計		(59)		

令和8年度　シラバス

2026.4

教科	科目名	単位数	クラス
家庭	家庭総合	2	2年

使用教科書	未来へつなぐ家庭総合365（教育図書）	使用副教材	未来へつなぐ家庭総合365マスターノート

目標	生活の営みに係る見方・考え方を働かせ，実践的・体験的な学習活動を通して，様々な人々と協働し，よりよい社会の構築に向けて，男女が協力して主体的に家庭や地域の生活を創造する資質・能力を育成することを目指す。

学期	月	予定時数	学習内容	評価（〇）と留意点（※）
一学期	4	6 (6)	学習を始めるにあたって（ガイダンス） B編　第1章　食生活と健康	〇主体的に生活を営むための必要な内容を理解できたか(知思) [提出物・テスト]
	5	5 (11)	1　食事の理由　　2　栄養素 3　食品の安全　　4　健康に食べる	〇基本的な実習の技術が身についたか(知主) [作品・テスト]
	6	10 (21)	5　食生活と環境・食文化 中間考査	〇人々と協働し実習を行うことができたか(思主) [レポート・相互評価]
	7	2 (23)	”調理実習”（3～4回程度）	※実習は成績に影響するため、なるべく欠席しない
	8	2 (25)	A編　第3章　子どもの生活と保育 1　子どもの心身の特徴と生活 2　子どもとの関わり方	
	9	5 (30)	3　これからの子育て ”保育実習”（乳幼児との触れ合い）　　期末考査	
1学期計		30		
二学期	10	6 (36)	B編　第3章　住生活と住環境 1　住まいの役割　　2　安全・安心な住まい	〇主体的に生活を営むための必要な内容を理解できたか(知思) [提出物・テスト]
	11	5 (41)	3　快適な住まい　　4　持続可能な住まい 中間考査	〇基本的な実習の技術が身についたか(知主) [作品・テスト]
	12	8 (49)	C編　第2章　消費生活と意思決定 1　契約の重要性・消費者問題の現状　　2　将来の経済計画	〇人々と協働し実習を行うことができたか(思主) [レポート・相互評価]
	1	2 (51)	C編　第3章　持続可能なライフスタイルと環境 1　暮らしと環境問題　　2　持続可能な消費	※実習は成績に大きく影響するため、欠席しない
	2	9 (60)	”生涯（自分の生き方）の生活設計” 年度末考査	
	3	1 (61)		
2学期計		31		
授業時間総計		61		

令和8年度　シラバス

2026.4

教科	科目名	単位数	クラス
商業	情報処理	2	2A選択

使用教科書	実教出版 「情報処理」	使用副教材	プレゼンテーション作成模擬問題集 表計算模擬問題集 （日本情報処理検定協会）

目標	①課題や目標に応じて、情報手段を適切に活用することを含めて必要な情報を主体的に収集・判断・表現・処理・創造し、発信・伝達できる能力を育てる。②社会生活の中で情報や情報技術が果たしている役割や及ぼしている影響を理解し、情報モラルの必要性や情報に対する責任について考え、望ましい情報社会の創造に参画しようとする態度を育てる。

学期	月	予定時数	学習内容	評価（○）と留意点（※）
一学期	4	7 (7)	1章　企業活動と情報処理 1節　情報とは何か・情報システムとは・ビジネスとコンピュータを通して情報処理の重要性重要性を学ぶ 2節　情報モラルと法規 3節　コミュニケーションと情報デザイン	
	5	5 (12)	5章　プレゼンテーション 1節　プレゼンテーションの技法　・プレゼンテーションの意義と必要性を学ぶ 2節　ビジネスにおけるプレゼンテーション　・プレゼンテーションソフトを利用し、演習する	・プレゼンツールの活用(知思)[提出物 ・課題へ取り組む姿勢(主)[提出物、試験]
	6	7 (19)		
	7	4 (23)	3章　情報の集計と分析 1節　ビジネスと統計　・表計算ソフトの活用例を理解し、統計の基礎を学ぶ。 2節　関数を利用した表の作成　・関数を利用して有用なビジネス情報を導き出すための技法を学ぶ 3節　グラフの作成　4節　情報の整列・検索・抽出	
	8	2 (25)		
	9	5 (30)	5節　問題の発見と解決法 1学期期末考査	
1学期計		(30)		
二学期	10	8 (8)	4章　ビジネス文書の作成 1節　ビジネス文書と表現　・ビジネス文書の役割・構成を学ぶ 2節　基本文書の作成　・ワープロを利用した社外文書や社内文書を作成する	
	11	4 (12)	2学期中間考査	
	12	6 (18)	3節　応用文書の作成　・表計算、グラフなどを含んだ文書を作成できるようにする	・計算式、関数の活用(知思)[提出物] ・課題へ取り組む姿勢(主)[提出物、試験]
	1	4 (22)	2章　コンピュータシステムと情報通信ネットワーク 1節　コンピュータシステムの概要 2節　情報通信ネットワークの仕組みと構成 3節　インターネットの活用 4節　情報セキュリティの確保	
	2	7 (29)		
	3	0 (29)	学年末考査	
2学期計		29		
授業時間総計		(59)		

令和8年度　シラバス

2026.4

教科	科目名	単位数	クラス
家庭	生活と福祉	2	2年C選択

使用教科書	生活と福祉（実教出版）	使用副教材	生活と福祉　学習ノート

目標	高齢期にいたるまでの健康づくりについて考えさせるとともに、高齢者への適切な自立生活支援と介護・看護に関する基礎的な知識と実践できる技術を身に付ける。

学期	月	予定時数	学習内容	評価（○）と留意点（※）
一学期	4	5 (5)	学習するにあたって（ガイダンス） 第2章　高齢化の現状と高齢者の特徴	
	5	8 (13)	1　高齢化の現状 2　高齢者の心身の特徴と病気　3　高齢者の生活課題と施策	
	6	6 (19)	中間考査	
	7	4 (23)	第3章　高齢者の自立生活支援　1　ノーマライゼーション 2　高齢者介護の考え方　3　認知症の介護	
	8	2 (25)	第5章　介護・看護の実習　1　介護実習 （歩行介助、車イス介護、食事介護　等）	
	9	5 (30)	期末考査	
1学期計		(30)		
二学期	10	5 (5)	第1章　人の一生と生活・健康　1　健康とは 2　健康寿命　3　QOL（クオリティ・オブ・ライフ）	
	11	7 (12)	4　ライフステージと健康　5　生活習慣と健康	
	12	7 (19)	第4章　高齢者支援の法律　1　社会保障・社会福祉制度のしくみ 中間考査	
	1	3 (22)	第4章　高齢者支援の法律　2　介護保険制度と地域包括ケアシステム 第5章　介護・看護の実習　2　看護実習	
	2	7 (29)	（バイタルサインの見方、口腔の清潔、誤嚥と窒息、 転倒と骨折、低温やけど、脱水、熱中症　等）	
	3	0 (29)	年度末考査	
2学期計		29		
授業時間総計		(59)		

令和8年度　シラバス

26年04月

教科	科目名	単位数	クラス
金山タイム	金山タイム	1	1・2・3年次

使用教科書	なし	使用副教材	各講座ごと

目標	（1） 生徒が生まれ育った地域の人達から学び、地域への愛着心を育て、地域に貢献したいという気持ちを育む。 （2） 地域の様々な達人とふれあい、好ましい人間関係のあり方を学び、人を思いやる心や感動する心など、豊かな人間性を身につける。

学期	月	予定時数	学習内容	評価（○）と留意点（※）
一学期	4	0 (0)		○事前の学習・準備(主) ○目的意識と姿勢・積極性(主)
	5	1 (1)	オリエンテーション（1）	○講師への礼儀や態度(主) ○協調性(主)
	6	6 (7)	第１回活動（6）	○活動記録やまとめの整理(知) ○活動成果の明確化(思)
	7	6 (13)	第２回活動（6）	○成果や課題の整理と表現・伝達(思) ○活動を振返り，考え方や見方の変化を明確にとらえる(主)
	8	0 (13)		
	9	6 (19)	第３回活動（6）	
1学期計		(19)		
二学期	10	13 (13)	第４回活動（6） ﾌｪｽﾃｨﾊﾞﾙ準備（4）、ﾌｪｽﾃｨﾊﾞﾙ（3）	
	11	0 (13)		
	12	0 (13)		
	1	0 (13)		
	2	0 (13)		
	3	0 (13)		
2学期計		13		
授業時間総計		(32)		

令和8年度　シラバス

2026年4月

教科	科目名	単位数	クラス
卒業研究	卒業研究Ⅱ	1	2年

使用教科書	なし	使用副教材	なし

目標	地域や現代社会の課題を通して探究活動を実践する能力や態度を身に付ける。

学期	月	予定時数	学習内容	評価（〇）と留意点（※）
一学期	4	0 (0)		
	5	1 (1)		
	6	4 (5)	インターンシップ事前学習①② インターンシップマナー講座	〇実習先で積極的に取り組めたか（思主） 【姿勢・提出物】
	7	10 (15)	インターンシップ実習　／　実習振り返り 企業訪問　／　若手社員による講話	〇働くと言うことを理解し、将来と結び付けて考えることができたか。（思主） 【姿勢・提出物】
	8	0 (15)		
	9	0 (15)		
1学期計		(15)		
二学期	10	3 (3)	オリエンテーション・研究テーマ設定 骨子と研究方向の確認　／　クレペリン検査	〇研究テーマを適切に設定できたか。（主） 【提出物】
	11	3 (6)	研究テーマに関わる資料収集・調査・研究 （合同企業ガイダンス）	
	12	5 (11)	プレゼンテーション準備と作成 校内卒業研究発表の見学	〇プレゼン資料の作成ができたか。（知思） 【資料の提出】
	1	1 (12)	本校との合同発表会の見学 （就職ガイダンス）	〇他者の研究を理解し適切に評価できたか。 （主）
	2	4 (16)	2年次研究成果発表会 報告書作成、まとめ・自己評価	〇研究をわかりやすくまとめ発表できたか。 （思）【発表・提出】
	3	0 (16)		
2学期計		16		
授業時間総計		(31)		